

## 現代文化学部 3 つのポリシー

### ディプロマ・ポリシー

現代文化学部（以下、本学部という）では、本学のディプロマ・ポリシーと同様に、建学の精神「愛情教育」を基本理念とし、学則別表第 I のカリキュラム表に示される各科目群の卒業要件並びに 124 単位以上の履修という卒業要件を満たし、特に地域社会における様々な文化的営みにおいて、中核的役割を担う人材を育成することを目的としています。そのため、大学全体のディプロマ・ポリシーを満たし、かつ「駿大社会人基礎力」を身につけ、加えて以下に示した学部固有の教育を通じて培った知識と技能を身につけた者に学士（現代文化学）の学位を授与します。

#### 1. 基礎的な力

基礎的な日本語運用能力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につけ、現代社会を生きるうえで必要な基礎的知識をもち、将来は職業や余暇活動を通じて社会に貢献し、自己実現することを目指すことの意義と喜びを理解し、それを実践する意欲を醸成します。

#### 2. 多文化理解

多様な文化に関する幅広い教養を修得し、グローバルな視野を身につけ、様々な領域において文化交流を促進することの意義を理解しています。

#### 3. 行動に移す力と協働する力

多くの演習、研修、実習および実技科目を通じて、目標に向かって行動を起こすことの価値を体験的に理解した上で、社会全体に浸透するグローバル化と情報化に伴う諸課題を、地域の一員として、地域社会における活動を通じて適切に対処できます。

#### 4. 総合的な力

現代文化学部での 4 年間の学びの集大成として、自分の身のまわり、あるいは社会の現状を適切に認識し、問題意識を持ち、実現可能な課題を設定し、それについて調査（実験）・研究し、その内容を論文としてまとめ（卒業研究）、それを要約し（卒業研究要旨集）、かつその内容を公の場でプレゼンテーション（卒業研究発表会）することができます。

#### 5. 国際文化コミュニケーションコース

国際文化コミュニケーションコースの修了者は、上記 1~4 のことに加えて、さらに言語を中心としたコミュニケーションの方法を身につけ、日本の文化や歴史に対する理解を深めるとともに、欧米やアジアの言語と文化についての基本的な知識を習得しています。また、国内外の語学研修などの異文化体験を通して、豊かな表現力と日本と世界の関係性について考察する力をもち、幅広い視野を有した国際人として活躍することができます。

#### 6. 観光ホスピタリティコース

観光ホスピタリティコースの修了者は、上記 1~4 のことに加えて、日本あるいは海外の

観光に必要な知識や技術を持ち、他の人の観光や旅行を支援することができます。また、大学が立地している地域の歴史や風土、自然、生活文化についての基礎知識を持ち、その特徴をPRできます。加えて、多くの人びととコミュニケーションをとることができ、地域社会において文化交流を促進することができます。

#### 7.スポーツ文化コース

スポーツ文化コースの修了者は、上記1~4のことに加えて、スポーツの平和に対する貢献、文化の中に占める位置などについて理解し、ポピュラーな種目についての知識や技術を修得し、その素晴らしさや多様な楽しみ方を理解しています。また、それらの知識や技能を学校教育やスポーツ指導の場で活用できます。

#### 8.スポーツキャリアコース

スポーツキャリアコースの修了者は、上記1~4のことに加えて、自身の専門とする競技スポーツの競技力向上に取り組むことができます。また、一般人が生活の中にスポーツを生かし、生涯スポーツを楽しむことを支援し、スポーツ交流によって人間関係を円滑にすることを促進できます。加えて、スポーツ活動を通じて体得した人間力を、実社会において活用することができます。

### カリキュラム・ポリシー

本学部では、本学カリキュラム・ポリシーを基本とし、共通教養教育、専門教育の各科目を体系的に配置し、講義科目に加え、4年間を通しての少人数ゼミナール、さらにアウトキャンパス・スタディ、アクティブ・ラーニング等の先端的手法を取り入れた授業を開設します。

また、科目ナンバリングを行い、各科目の関連や難易度を示すとともに、カリキュラムマップ等を用いてカリキュラムの体系を示します。

教育内容、教育方法、評価については以下の通りです。

#### 1.教育内容

##### (1)共通教養教育

共通教養教育は、4年間の学修の基礎となる知識や技能と、地域社会の中核を担う社会人としての基礎となる知識や技能を、バランス良く身に付けられる内容としています。

具体的には、まず、高校までの教育から大学での教育への移行をスムーズなものとするため、充実した導入教育（初年次教育）を行い、大学での学びの基本とスキルの確実な修得を図ります。加えて、グローバル化の著しい社会において必要な語学や海外の文化を修得させる教育、体系的で効果的な全学共通のキャリア教育を行います。

また、社会を理解するための基本的視点・考え方を修得させるとともに、地域社会を理解するための基本的視点・考え方も修得させる教育を行います。そして、それらの応用として、現実の地域社会における実践的な学びの場を提供します。

##### (2)専門教育

専門教育においては、本学のカリキュラム・ポリシーに記載された事項を満たしたうえで、1年次には、本学部で学ぶ主要科目の基礎的科目（「専攻基礎科目群」、「現代文化基礎講座Ⅱ」）を設置し、本学部での教育の全体像を提示しつつ、2年次以降のコース選択を自主的に考える場としています。2年次からは、国際文化コミュニケーションコース・観光ホスピタリティコース・スポーツ文化コース及びスポーツキャリアコースという4コースに分かれて専攻発展科目を履修しますが、変化の著しい現代社会にあって「広い視野と探究心を持った人材育成」のための基礎とすべく、4コース何れにも関連するコース共通科目群も設置しています。

このコース共通科目群には、通常の講義形式の科目群（オンキャンパス科目）に加えて、本学部独自のフィールドスタディ科目群を設け、選択必修としています。これは、主な教場を学外に求めた体験重視型の授業で、自主的・主体的な学習・調査を実践する場としています。学内では得られない貴重な体験を通じて、人間的な成長を促すものと期待しています。この他にも、本学部は、「理論と実践のバランスの取れた人材の育成」のために、理論を学ぶ科目と、受講者自身が主体的に取り組む実践的な科目を各コースに並列設置しています。

さらに、本学部では学部教育の集大成として、4年次では卒業研究を必修とします。本学部の卒業研究は、自らの問題意識に基づきテーマを決定し、調査・実験・研究を行い、その内容を論文としてまとめ（卒業研究）、それを要約し（卒業研究要旨集）、かつその内容をプレゼンテーション（卒業研究発表会）することを課しています。

## 2.教育方法

愛情教育という建学の精神を具体化するために、4年間を通じて少人数制のゼミナールを配置し、担当教員によるきめ細かい指導により、ひとりひとりの個性や夢を尊重しながら、駿大社会人基礎力の確実な育成を図っていきます。また、学生が教員との協働の中で成長を実感できるようにすることで、学生の主体性や行動力・実行力を向上させます。

主体性や行動力・実行力を高めながら、課題発見能力や問題解決能力を育成するために、PBL（Problem-based Learning・Project-based Learning）を始めとするアクティブ・ラーニングなど、先端的な教育方法による講義を積極的に実施します。

また、全学的なアウトキャンパス・スタディでは、近隣の様々な社会資源を活用し、現実の地域社会の中で学ぶ経験を提供することに加えて、本学部独自にフィールドスタディ科目群を設け、選択必修としています。これは、主な教場を学外に求めた体験重視型の授業であり、「理論と実践のバランスの取れた人材の育成を目指します。

## 3.評価

本学では、ディプロマ・ポリシーにて掲げる「駿大社会人基礎力」と専門的知識・技能の総合的な活用力の修得状況を、①駿大社会人基礎力の到達度の確認、②各科目のシラバスに定める成績評価、③卒業研究またはゼミ研究の成果把握、によって総合的に行います。

駿大社会人基礎力の到達度の確認は、ルーブリックを活用して行います。すなわち、社会

に出るまでに身につけるべき能力を駿大社会人基礎力として5つの力・16の能力要素に分類し、ルーブリックを用いて年次ごとに測定します。各年次において測定された駿大社会人基礎力は、各自が履歴として一覧することができるので、学生がどれだけできるようになったのか到達度を確認しながら、基礎力の向上を図ることができます。

成績評価は、学習の到達目標の明示から始めて、多様な評価項目を異なった比重で評価し、最終の成績評価に活用します。その際には、習熟度や学習によって獲得した様々なスキルを査定します。なお、学生には成績を提示するだけでなく、課題、レポートの返却等、授業終了後のフィードバックを与えることにします。

卒業研究については、学部が作成したチェック表を活用し、総合的な評価を行います。

## アドミッション・ポリシー

### 1. 求める学生像

本学建学の精神である「愛情教育」に共感し、常にグローバルな視野の下、地域社会の諸活動の中で中核的役割を担おうとする人材を求めます。

高等学校までの学びを通じた基礎的な知識に加え、身近な問題に関心を抱き、自身の生活とどのように関連しているかを自ら学び考え、意見を表現する力を身につけた者、さらに、大学で学んだ知識・技能を社会で活かしたいという強い意欲を持っている者を歓迎します。

既述された大学全体のアドミッション・ポリシーに加えて、本学部では、文化という、すぐれて人間的な営みに興味をもち、生きるための知恵や技術だけではなく、生きること自体を豊かにしたいと思っている学生とともに、学び考えたいと考えています。

そのために、とくに人間の文化的営みに興味をもち、文学、歴史、観光、スポーツ、教育の視座から、人間が豊かに過ごすために何をなすべきか思考し、行動できる人を求めます。

### 2. 高等学校において学んできてほしいこと、身につけてきてほしいこと

大学全体が求めることに加えて、本学部では特に、高等学校の学習内容をはば広く意欲的に履修し基礎的知識と基礎的学力を身につけ、かつ生徒会活動、ボランティア活動、各種部活動などに積極的に参加し、心身のバランスのとれた健全な高校生活を送ることができた学生を求めています。

以上のような入学者を選抜するために、学力試験、面接試験、書類審査、模擬授業及び課題審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

[2017年4月改定]